



たいさんぼく

平成30年度 学校だより10月号
小平市立小平第十三小学校
<http://www.kodaira.ed.jp/13kodaira/>

♪ 絵本とスマホと私 ♪

主幹教諭 阪上 智美

開校50周年記念大運動会が目前に迫ってきました。子どもたちは、一生懸命、それぞれのめあてや、役割に向かって力を尽くしています。これも、ご家庭で子どもたちを支え、見守り、励ましてくださっているおかげです。本当にありがとうございます。全力で走った、おもいきり踊った、大きな声で応援した、自分の係に責任もって取り組めた…なんでもいいのです。子どもたちがこの運動会で、何かひとつのことをやりきれるといいなと思います。

さて、秋です。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…いろいろな秋がありますが、先日、我が家でこんなことがありました。

先日、突然、中二の娘から「お母さん、最近、本を読んでもくれないね。」と、言われたのです。小学生のころは寝る前に読んであげていたけど、さすがに最近は読み聞かせはしていません。中学生になっても読んでほしいのかしら…と考えながら、「そうだねえ、久しぶりに、読もうかな。好きな本もってきて。」と言うと、これを聞いていた小学生の息子が、さっと、絵本をもってきました。『旅するベッド』という絵本。テレビを消して読もうとすると、その息子が「お母さん、スマホも遠くに置いてね。」と、一言。ドキッ…。 「はい、わかりました。じゃあ、読むよ。」

読んでみました。子どもたちは、別に食い入るように聞くわけでもなく、何か感想があるわけでもなく、淡々と聞いているだけ。

娘にそっと、聞いてみました。

「中学生になっても、読み聞かせしてほしいものなの？」

「別に読んでほしいという訳ではないんだけどね。」

ふーん、なるほどね。本の読み聞かせが目的ではなくて、気持ちを自分たちに向けてね。ということなのかな。

でも、秋の夜にこんなのもいいかもしれないな、と思った出来事でした。小さい頃はごく近くで、大きくなったら、それなりの距離感で、親子の時間って過ごせるんだなあ。と、考えた夜でした。

(次の日は、私から「本、読もうか？」と、言ってみました…「今日は、いいよ。私もいろいろ忙しいからね。」と、断られました。)

そして、自分では気がつかないまま、家庭の中でスマートフォンを見てる時間が多かったのです。スマホの画面ばかり見て、子どもを見ていないんだな、と反省したところです。

秋の夜長、本を手取るのはいいですよ。それぞれ好きな本を読むのもいいし、一緒に読むのもいいし、読み聞かせもいいです。子どもって、聞いてないようでも聞いているみたいです。

『旅するベッド』 ジョン・バーニンガム 作 長田 弘 訳
ほるぷ出版 2003年



○10月の芝刈りの予定

10月は運動会終了後から14日(日)まで芝生の養生期間となります。

水曜日 (14時30分～)	24日 31日
------------------	---------

芝生サポーター大募集！！

※参加できる方、気になる方は、担任または副校長までご連絡ください。